

桜の里便り



令和2年度 第3号

35年の歴史に幕を下ろす旧体育館に感謝！

校長 茂木 徹

日吉小学校の歴史を記録する「学校沿革誌」に次の記述が残されています。

昭和60年 4月1日 新校舎にて教育活動を開始（現在の校舎のことを指します）
 4月4日 新任式、始業式は旧体育館で実施（今はなき木造の体育館です）
 （中略）
 6月3日 **新体育館**で初めての全校朝会を行う（今の旧体育館を指します）
食堂で全校児童が一堂に会した給食開始（今の旧食堂を指します）

この記録を見れば、昭和60年（1985）に旧体育館が竣工し、35年という長い間、子どもたちの活動を支えてくれたことになります。そして、昨年、新体育館が完成したことにより、旧体育館の役目が終わり幕を閉じることになりました。

今日までの35年間、たくさん子どもたちや保護者の方、地域の皆様の活動を支えてくれた旧体育館でした。今年度の入学児童を含め、その間、日吉小学校に在籍した児童は、1,373人に登ります。本当に多くの人々のために役目を果たしてくれたわけです。とりわけ、平成19年（2007）の中越沖地震の際には、フロアの傾斜や段差、扉の不具合など大きな被害を受けました。しかし、その後の修復を経て、現在まで頑張ってくれました。保護者・地域の皆様の中にも、旧体育館で運動したり、遊んだりしたご経験をお持ちの方も大勢いらっしゃると思います。これから始まる解体工事を前に、改めて私たちを支えてくれた旧体育館に感謝の気持ちを表したいと思います。

このような趣旨のもと、7月6日（月）に旧体育館とのお別れ会を行いました。全校児童が旧体育館に集い、学年代表の子どもから思い出や感謝の気持ちを述べてもらった後、旧体育館の壁面に感謝の言葉を書き残しました。入学式を旧体育館で迎えた2～6年生は、当時の思い出を振り返りながら、友達と遊んだことや体育でがんばったことなど、思い思いの気持ちをペンで書きました。1年生も、入学してから、6年生と一緒に遊んだことを振り返り、「ありがとう」という素直な気持ちを書きました。



こうして、また歴史が紡がれ、令和の時代にバトンが繋がりました。とても感慨深い想いで一杯です。

なお、本格的な工事は7月13日以降に始まり、令和3年2月頃に解体工事を終える予定です。その後、令和3年度以降、跡地の整備工事が行われ、日吉小学校の一連の改修工事が終了することになります。



児童会行事「さくら会祭り」

7月16日（木）に児童会行事『さくら会祭り』を行いました。2～6年生の各学級が、お客さんに楽しんでもらうためにどうしたらいいかとアイデアを出したり、協力したりしながらお店を準備しました。今年度は、いつもの準備に加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止対策についても、子どもたちなりに考えました。待っているお客さんの席の間隔を広くしたり、入場制限をしたりと、工夫したお店づくりに取り組みました。運動会や登山、修学旅行等が延期となり、行事を通して子どもたちが目標をもって団結したり、友達と何かを成し遂げたりする場が少なくなった中、このさくら会祭りを通して、「仲間とともに高める姿」をたくさん見ることができました。



1年1組 児童

「魚釣り」が楽しかったです。「バッティングセンター」で打って楽しかったです。

1年2組 児童

「宝探し」が楽しみでした。「宝探し」は150点が難しかったです。

1年生は2～6年生が考えて作ったお店で楽しみました

2年 児童

私が楽しかったのは「射的」のお店です。輪ゴムで缶を倒すのが楽しかったです。またやってみたいです。「魚釣り」のお店では、魚の点数を計算するのをがんばりました。



2年生 宝探し



2年生 魚釣り



3年生 まちがい探し



3年生 缶つみ

3年 児童

ぼくががんばったことは、「まちがい探し」の係で、お客さんが後ろを向いている30秒の間に、まちがいを5つ用意したことです。30秒で用意するのは難しかったけどできてよかったです。



4年生 ピッチングゲーム



4年生 宝探し+クイズ

4年 児童

がんばったことは、お店のPRです。お客さんがたくさんいるところで、大きな声でできました。いろいろなお店を友達と回ることができて楽しかったです。来年はもっと楽しいお店ができるようにがんばりたいです。

5年 児童

ぼくは「バッティングセンター」のスタンプ係でしたが、他の係の仕事も進んで手伝うことができました。「宝探し」では、宝を全部見付けることはできませんでしたが、高得点の宝を見付けることができてよかったです。



5年生 バッティングセンター



5年生 宝探し



6年生 お化け屋敷



6年生 射的

6年 児童

最後のさくら会祭りと地震対応訓練が重なり、下学年をしっかりと誘導できるか不安がありました。がうまくできました。「射的」では、分かりやすく説明することを心掛け、お客さんにも喜んでもらうことができてよかったです。



身を守る行動をとる子どもたち

7月16日は、中越沖地震から13年目を迎えた日でした。柏崎市の市民一斉地震対応訓練に合わせて、さくら会祭りの実施中に1分間の安全行動訓練を行いました。防災無線の放送が始まると、全員がやっていることを一斉にやめて、放送を聞き、姿勢を低くして頭を守り、その場を動かずに待つことができました。ご来校いただいた保護者の皆様にもご参加いただきました。地震はいつどこで起きるか分かりません。地震が起きた時に、自分や周りの人の大切な命をどうやって守るかを再確認できた貴重な訓練でした。

～『夏のひよし本まつり』を行いました～



【職員による本の読み聞かせ】

6月29日（月）から7月10日（金）まで、夏のひよし本まつりを実施しました。自分で読みたい本や読む量を決め、進んで読書に親しもうとする子どもの育成を目指し、実施したものです。期間中は、職員の読み聞かせ「お話たまたまこ」、「家族で家読にチャレンジしよう」、読書支援員による「おすすめの本のブックトーク」、そして、児童図書委員会主催の「ブックランニング」と、楽しい企画が満載でした。また、教育相談の期間中に、6年生が下学年に読み聞かせをする時間も設定しました。これからも本の好きな子どもを育てていきたいと思います。

～桜プロジェクトにご寄付をいただきました～

日吉小学校同窓会長の小林知明様のお母様、故小林洋子様のご遺志で、日吉小学校桜プロジェクトに活用くださいと、ご寄付をいただきました。小林様は去る5月3日にお亡くなりになりましたが、生前は日吉小の子どもたちにご自身の戦争体験をお話しくださったり、東京の桜小学校との交流にお力をいただいたりと、たいへんお世話になった方です。

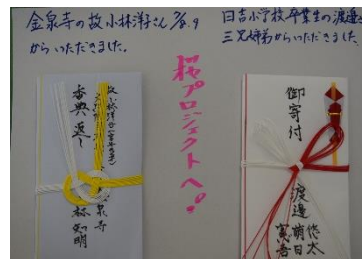
ご寄付は、ご香典のお返しという形でいただきました。日吉小学校に配付いただいた「金泉寺だより」から一部を抜粋してご紹介させていただきます。

故小林洋子儀 葬儀の御礼と香典返しについて

～母へのご香典の返礼につきましては、金泉寺責任役員の方々と相談し、母が生前お世話になっておりました「世田谷区立桜小学校」、及び地元の「日吉小学校」、令和の大改修に着手している総本山長谷寺、及び新型コロナウイルス収束のために日夜奮闘している「国境なき医師団」に寄付をさせていただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。～
(令和2年7月2日金泉寺だよりNo.167 より一部抜粋)

また、日吉小学校卒業生三兄弟の渡邊悠太様、萌日様、憲吾様からもご寄付をいただきましたので、併せてご紹介させていただきます。

いただいたご寄付は、桜の植樹に有効活用させていただきます。
ありがとうございました。



<<<子どもたちの活躍>>>

第31回 新潟県ジュニア小学生バドミントン大会

女子ダブルス6年生以下 準優勝 6年児童

